

小 交通遺児のために役立ててほしい。今回で4回目の寄附 竹範夫さんが交通被災者たすけあい協会へ寄附

8月30日、肝付地区協会交通安全会館にて、小竹範夫さんが交通被災者たすけあい協会に寄附をされました。小竹さんは還暦を迎えられたのを機に、2003年から寄附を始められました。その後も5年おきに寄附を必ず続け、今回で4回目の寄附となります。同日は感謝状贈呈式も行われ、たすけあい協会の坂元重利事務局長より感謝状が贈られました。



たすけあい協会坂元重利事務局長より感謝状の贈呈を受ける小竹さん



前列左より坂本事務局長・小竹さん、大山署長、後列左安山交通課長、本村地域課長



ア ツイゼ!サマーキャンプin自然の家

町子ども会育成連絡協議会では、子ども会活動や学校生活のなかで中心的な役割を担える人材を育成することを目的に「アツイゼ!サマーキャンプ(イン・リーダー研修)」を実施しています。

今年は8月2・3日の2日間、大隅青少年自然の家で行われ、町内の小学5年生から中学3年生までの計22名が参加しました。研修では、安全啓発研修や創作活動、万滝ハイキング、レクリエーション等の活動を行いました。

参加した子どもたちからは、「他の学校の人たちと仲良くなることができた」「仲間と協力することの大切さを学ぶことができた」などの感想があり、とても充実した研修になりました。

平 ふるさと納税を活用して昨年度に引き続き実施 成30年度肝付町青少年海外派遣事業

「平成30年度肝付町青少年海外派遣事業」が8月20日～29日に行われました。

町の未来を担う中学生を海外に派遣し、現地の人々との交流を通して、語学力と国際感覚の向上を図るとともに、グローバル社会に貢献できる人材を育成することが目的です。

町内の中学校に募集をかけ、応募した24名の中から内之浦中2名、国見中1名、高山中9名の計12名が選出されました。

派遣先のアメリカ合衆国フロリダ州ケープ・カナベラル市には、ケネディ宇宙センターがあり、温暖で海に面していることなど、本町と類似点が多いことから、派遣先として選ばれました。

期間中は、市長表敬訪問や学校訪問、ケネディ宇宙センター施設見学などを行い、参加者からは、「英語で思いを伝えられないことの歯がゆさや、自分の英語が通じたときの喜びを身にしみて感じる事ができた」「これからの生活でも勇気を出して、いろいろなことに挑戦していきたい」との感想が聞かれました。

